

## 愛と希望の復興：宮城県岩沼市

## ペアリング支援ニュース

### 安全・安心に暮らせるまちをつくる、 新浜地区

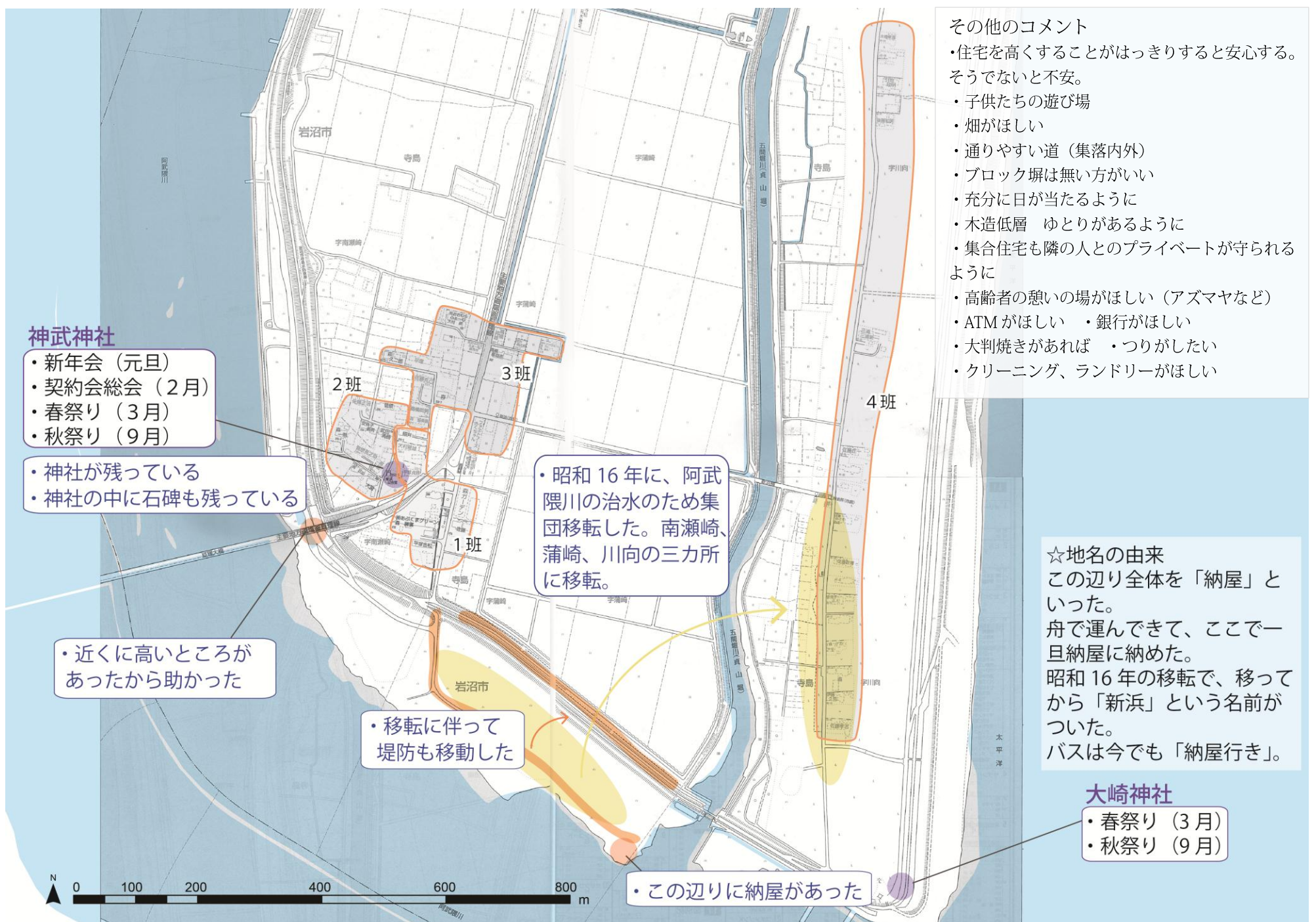
2012年7月8日に岩沼市東仮設住宅集会所で、集団移転する沿岸部の集落の新しいまちの暮らしを考えるワークショップが開催され、活発な議論が行われました。新浜では、まず住宅が安全であるべきなので、県道より2m以上高くしたいという話や、現在の仮設住宅では隣の家のちょっとした物音まで聞こえてしまうので、新しいまちでは隣同士のスペースを空け、緑道を作りたいということ、季節ごとの風を防ぐために住宅は南南西の向きがよいなど、住宅についての話題が多く出されました。また、防災については、すぐに避難できるような、歩いて行ける範囲に小高い場所が必要、という意見もありました。その他、電柱の地中化や蛍の飛ぶ川など、新しいまちについて活発な意見交換が行われ、実りの多いワークショップでした。



写真：ワークショップの様子

#### 新浜の新しいまちづくりの原則

1. 住宅は県道より2m以上高くする
2. 住宅と住宅の間に緑道をつくる（隣とのスペースを空ける）
3. 住宅の向きは南南西（いなさ、やませ、東風を防ぐ）
4. 商店が近い
5. 蛍の飛ぶ川
6. 歩いて行ける範囲に小高い場所（すぐに逃げられる）
7. 電柱の地中化
8. 再生可能エネルギー（集団移転地区全体、全家庭に）
9. 四季が感じられる公園（サクラ、紅葉する落葉樹など）



図：新浜地区の暮らし（震災前）

この内容は、岩沼市玉浦西地区まちづくり検討委員会に反映される予定です。